

平成25年第1回定例教育委員会

開催日時 平成25年2月1日(金)午後3時～4時19分

開催場所 輪島市文化会館4階401会議室

出席委員	委員長	小橋明直
	委員長職務代理者	榎木孝則
	委員	沢田悦子
	委員	石本昇藏
	教育長	吉岡邦男

事務局説明員

教育部長兼庶務課長	西畑賢一
教育参事兼学校教育課長	高野勝
生涯学習課長	宮下敏茂
文化課長	坂口勇
生涯学習参事兼青少年育成センター所長	浦西武司
市立図書館長	上野寛美
市立門前図書館長	柿本敦子
輪島漆芸美術館事務局長	坂下照彦
庶務課主幹兼庶務係長	茶花隆一

議事

- 1、教育長諸報告
- 2、市議会諸報告
- 3、議案の審議

議案第1号 輪島市学校通学区域に関する規則の一部改正について

議案第2号 平成25年第1回輪島市議会臨時会提出予定案件について

- 4、報告事項

5、その他報告

6、その他

会議録

委員長 それでは、ただいまから第1回定例会を開催したいと思います。
まず、本定例会の会議録署名委員に石本委員を指名します。

石本委員 はい。

委員長 それでは、平成25年の第1回の会議に入ります。
まず最初に、市教育長より諸報告について報告願います。
教育長。

教育長 一応、浦西課参事、あしたの準備のため、大ホールにちょっと行ってお
ります。おくれます。

12月21日、市議会の本会議最終日でございました。ここで、議案第97号
が、松陵、上野台、三井の3中学校統合にかかわった議案であります
が、一部修正可決ということで、今の状態になっておるところであります。

それから、12月23日は、石狩市・輪島市友好都市青少年スポーツ交流事
業ということで、23、24、25で、保護者4名、監督4名、市役所から4
名、そして町野の児童5名、輪島の児童10名ということで、バレーボール
をやっている子供たちですが、合計27名で訪問をしたと。大変なおもてな
しを受け、今後ともこういった交流が続くというふうに思われます。また
教育委員との交流も今後あるかと思えます。

次に、12月27日、石川県の教育委員会、木下教育長を私と高野参事で訪
問いたしました。舳倉島分校についての季節学校ということで、校務者の
派遣を要請いたしてまいりました。舳倉島分校は、来年3名が予定されて
おるところでございます。それから、鳳至小学校の通級学級について、こ

れもお願いしてまいりました。

それから、ずっと下がりにまして、1月5日、石川県体育協会の新年互礼会ということで、宮地会長、それから宮下副議長、私ほか、全部で6名で、互礼会に参加いたしました。

その次、1月7日でございますが、石川県の移動美術展実行委員会というのがございます。そこにチラシがありますけれども、この美術展ですね、昭和62年からこの輪島市文化会館で第1回目をやりまして、今回が26回目ということで、最終ということですよ。そして、このスポンサーが互助会ということで、この実行委員長が木下教育長ということでございます。それで、輪島が3回目になる。平成12年に輪島は2回目を受けているわけですが、今回でおしまいだと。石川県の県立美術館のお宝を、嶋崎館長さんもおいででしたが、今までよりもたくさん見せるということでございますので、輪島市教育委員会として、中学校3年生を除く全児童・生徒、中学2年まで、ぜひ見せたいというふうに思っております。期日が2月23日から3月8日の10日間で、入場は無料です。23日にはテープカットもございますので、またひとつよろしく願いいたします。

次に、1月10日は、市議会議員全員協議会ですが、これはちょっと説明しなかったんですが、毎月、輪島市議会は議員全員協議会を開くということでございます。この回は、この10日のときは、ドクターヘリの問題、災害廃棄物、それから鑑議員から3中学校の統合について質問がございました。それから、1月13日は成人式がございまして、307名の成人がございました。委員の方にもご出席いただきました。ありがとうございました。ちなみに、去年が357名です。4名でしたかね。50名ほど減っているわけですね。

次に、1月、飛びまして18日、輪島市文化協会の高出副会長来室ということですが、ことし1年に限り、天沼裕子さんという何か音楽家がおられるそうではありますが、その方が輪島へ来られて、日本全国から音楽家を輪島に呼んで指導をするという、そういうことで、高田先生というピアノの先生なんです、文化協会の方々と何人かで来られます。

それから、北國新聞の記者が、山本記者が3年近くいたわけですが、北

山記者にかわりました。今、統合小委員会についていろいろと書いておるのがその北山記者でございます。

それから、1月21日に輪島市婦人団体協議会新年会がございまして、私、招かれまして講演をしてみいました。後から会長さんがお礼に来られて、この新年会で飲んだ折に、中学校の統合頑張れということで、わてが応援するさけねということでございますので、また大変意を強くしたところであります。

それから、1月23日、伝統漆芸展輪島展の開会式がございました。206点、漆芸美術館に展示されているわけでございますが、大変すばらしい作品でございました。

それから、1月25日、市町教育長会がございました。これは、今度の教育長会が七尾の和倉温泉で開かれると。5月1日、2日ということでございます。いろんな問題について、この中で、当日の教育長会の中で教育問題について話されるということでございます。

それから、1月28日、輪島塗の図画コンクールの表彰式がございまして。4点、市長賞、教育長賞、議長賞、美術館長賞というのがございまして、大変すばらしい、例年になく大変すばらしい。どれも手というものがうんと誇張されておりました、ゴッホのジャガイモを食う人々の絵をほうふつさせるような、そういう、表情といい、4年生とは思えないような絵でありまして、ぜひ、教育長室に張ってありますので、また委員の皆さん、じっくりとごらんになられて、鑑賞をお願いいたします。

簡単ですが以上でございます。

委員長

今、教育長から報告がありました。これにつきまして何かご質問、ご意見等はございませんですか。

教育長

ちょっとつけ足していいですか。

委員長

はい。

教育長

12月26日から、この先ほどの議案第97号の修正可決を受けて小委員会を開いて、12月26日が第1回目、そして1月16日が第2回目、1月30日が第3回目ということでございまして、先ほども校長会の中でも意見交換もあったわけではありますが、かなりいろんなところで、この小委員会のものが効果が低いのではないかと、私どもは感じておるところであります。この後、2月12日に第4回目を開き、形の見えたところで、文化会館の大ホールを使い、市民にもお集まりいただいて、統合に向けた委員会の取り組みを周知徹底させていただきたいというふうに思っております。

以上であります。

委員長

2月12日の次に、どういうものでやるんですか。

教育長

この統合に向けた小委員会で明らかにされたことについて、市民に広く知らしめる。そして、市民の皆さんからさらに意見はないのか、まだ納得のいくところ、いかないところをお知らせして、さらに統合を進めていきたいと。3月に議案を上げたいということでもあります。今後の方向であります。

委員長

何かこの件についてご意見ございませんですか。賛成意見。

榎木委員

大変精力的にやっていただいて、本当にその中身も大変好意的というか、非常にあれで、12月には大変落ち込んで、臨時委員会をしたときでありますけれども、少し教育長さんのお話だと明るい兆しが見えてくるので、また今後とも、大変でしょうけれども、ひとつよろしく願います。

委員長

お金がかかっているようですが、市民に配布された資料というのは、非常にわかりやすいと思います。統合が、今まで各論反対が、だんだん具体的な部分も賛成になってきているような雰囲気、総論だけではない状況になってきているのではないかとこのように思いますので、ぜひ推進の方

向で事務局として取り組んでいただければありがたいというふうに思います。よろしく申し上げます。

それでは、特に意見がないようですので、次に移らせていただきます。

それでは、昨年の12月に開催されました輪島市議会12月定例会に関する諸報告についてであります。

まず、予算議案である議案第85号については教育部長から、条例の一部改正議案である議案第97号については教育参事からそれぞれ報告をお願いします。その後、本会議の質疑内容について各課から報告をお願いします。

それでは、議案第85号について、教育部長、お願いします。

教育部長兼
庶務課長

それでは、お手元の市議会諸報告の議案第85号についてでございます。

12月議会での提案案件でございます。予算についての概要説明をさせていただいておりますが、こちらの事件内容の記載にも書いてございますけれども、歳出として教育費が4,420万2,000円、それから災害復旧費として1,000万円を予算計上いたしまして、いずれも原案どおりお認めをいただいたところであります。

なお、詳細な内訳につきましては、次の2ページ、そして3ページのほうに記載をしております。それぞれの個々の項目の内容につきましては、校舎営繕費を初めとして、西保小学校の閉校に伴いますスクールバスの購入費、それから門前の西、東の小学校、それから門前中学校のパソコンの購入費、それから上野台中学校の体育館の修繕費というのが2ページでございます。

それから3ページにつきましては、文化振興費ということで、美術品の購入費、それから文化的景観の調査のための計画策定費等々がそれぞれ予算等に掲げられております。

なお、災害復旧費につきましては、11月13日に発生いたしました落雷に伴います市営野球場の電気設備の補修費ということでございますので、いずれも直ちに事業に着手をしておるところでございますので、詳細については省略させていただきますけれども、よろしくお願いいたしま

す。

委員長 それでは、97号について、教育参事。

教育参事兼 議案第97号 輪島市学校設置条例の一部改正についてですが、平成25年
学校教育課長 3月末をもって輪島市立西保小学校を廃止する。平成26年4月から3中
学校を統合するというこの後半の部分、3中学校の部分だけカットされて、
修正可決いたしました。

以上です。

委員長 どうぞ、教育部長。

教育部長兼 それでは、お手元の4ページのほうをお開きいただきたいと思います。

庶務課長 本会議における質問の骨子について報告をしてみたいと思います。

まず、橋本議員のほうから、拓政会の代表質問なんですが、教育問題と
いうことで、中学校の統合について、それから西保小学校の閉校について
の通学上の問題点についてのご質問でございます。今ほど、結果といたし
まして、統合中学校の議案97号につきましては、設置条例の修正可決とい
うことで、12月の臨時教育委員会のほうでもその点についてはご報告をし
たところでございますが、質問の中では、これに関しての質問が改めて出
ております。

中学校の統合についてですが、統合の異議、目的については、保護者や
地域住民に対して説明会を開催してきたということで、最大限の理解を求
めてきました。しかし、一部理解を得られないまま、いわゆる反対と思わ
れる要望書が議長に出されたということで、非常に我々としては残念であ
る。しかしながら、26年4月からの統合がスムーズにスタートできるよう
に、今後、小委員会を設置して、対策を講じたい考えであるという旨のお
答えをしております。

それから、西保小学校に伴う通学の問題でございますが、これにつしま
しては、先ほども予算の中で一部触れましたけれども、12月補正において

新たにスクールバスの購入費を予算計上いたしておりますので、4月から
の運行に向けて準備を進めたいということで答えております。

坂本議員のほうからは、同じく中学校の統合についてということで何点
か出ております。統合のスケジュール、それから保護者との協議は十分な
されておるか、あるいは、保護者への負担は協議できているのか、それか
ら、時間のある限り十分な協議をするべきではないかという旨の質問がご
ざいました。

統合のスケジュールにつきましては、12月の時点で設置条例の一部改正
を提案しておりますので、これが認められれば、26年統合に向けて準備を
進めていきたいと。その上で、新校舎建設に向けた基本設計、あるいは、
その後、新校舎建設場所となる松陵中学校の解体作業を進めてまいりたい
というスケジュール案を示したところでございます。

それから、保護者との協議の件でございますが、これまでも、先ほどと
重複をいたしますけれども、説明会を開催してまいったということで、引
き続き、その調整について取り組んでまいりたいということで、その段階
では、おおむね我々としては理解が得られているものと判断しておるとい
うお答えをしてきたところでございます。

それから、保護者の負担に伴う部分、あるいはそれに伴う協議はなされ
ておるかということでございましたが、保護者の負担としては、通学費
や、あるいは制服、学用品の購入などという問題がありますけれども、こ
れらについては、具体的に今後、小委員会を設置して、そのあり方につい
て検討、協議をしてまいりたいということで、できるだけ保護者の負担が
伴わないように、あるいは後戻りをしないような形で検討を進めたいとい
うことで答えております。

それから、鑑議員のほうからですが、西保小学校の閉校について、この
西保小学校の閉校の発表等は唐突ではないか、突然ではないかということ
で、どういった変化があったのかという問題です。

児童数が現在12名ということもございまして、非常にこの先も含めて児
童数が減少しておるといふ傾向が考えられるということから、保護者の一
部の中から、これからの先行きに非常に不安があるというようなご意見が

ございました。そろそろ……、そろそろって変ですが、検討すべき時期が来ておるのではないかというようなご意見をいただいたことから、教育委員会としては、今後の教育効果を考えて、閉校を提案して、その上で保護者のご理解が得られるものということで、了解を得て閉校をしたいということでお答えをしております。

それから、スクールバスについてですが、運行するんであれば、それを一般住民も乗れるような「愛のりバス」として利用できないか、そういう結果はないのかという質問でございます。

ここについては、現在、西保線という北鉄バスの路線バスが運行しておるという状況もございますし、今後、その小学生のスクールバスへの乗車の状況を勘案した上で、愛のり車については検討してまいりたいということで、具体的には、まだ北鉄バスとの並行運行ということがありますので、ただ、つけかえるとするならば、北鉄バスとしては、後々には路線バスについては遠慮したいと、廃止をしたいという意向を持っておるようでございますが、あくまで現在確定したわけではございませんので、現時点においては児童専用スクールバスとしてとりあえず運行しながら、今後の動向を見きわめたいということでお答えしております。

それから、鑑議員の中学校統合についてでございますが、これも先ほどと重複する部分もありますけれども、住民の理解、あるいは仮校舎の補修等々を考えると、もう少し時期を延長すべきではないのかと。

これについては、現時点では予定どおり実施したい考えであるということで、橋本議員、それから坂本議員にもお答えしたとおりですということであります。

それから、バス代についてですが、通常、統合から5年間については全額補助という制度がございます。ところが、5年経過後については、いわゆる保護者の一部負担というものが伴いますので、これを5年後も引き続き、いわゆる保護者一部負担を軽減すればどうだ、全額補助すればどうだというようなご質問で、制度的に言いますと、先ほど申しましたように、5年後以降は、一部負担3,000円、中学生ですと3,000円ということになります。これまでの統合した地域は、すべて5年後以降は負担を徴収してお

るということもございますので、これまでどおり徴収を考えたいというふうに思っているところでございます。

ただ、規則上といいますか、規定上でいきますと、僻地の地域が統合された場合については、その特例制度がありますので、そういう場合については5年以降も無償になる地域もあるということだけご理解いただければと思います。一般的には、5年以降は一部負担金は発生するというところで、こういうことでございます。

私のほうからは以上でございます。

委員長 学校教育課長。

教育参事兼 学校教育課関係で、本会議の質問の内容についてお答えいたします。

学校教育課長 小山議員のほうから、中学校統合問題について質問がありました。西畑部長と若干ダブりますが、まず1点目として、教育委員会の見解はという質問がありましたので、これについては、10月の各小・中学校での保護者説明会を受けて、そこで出てきた課題について、小委員会を設置して、保護者の負担を、それから不安をなくしながら、26年4月の中学校統合に向けて取り組んでいきたいと答えております。

署名運動は影響するかという質問ですが、これについては、統合の署名は議長に出されており、教育委員会へはこの署名というのは来ておりません。それで、ただ、新聞報道で署名があったということを見聞きいたしましたので、そのような声もあるということを考慮しながら、保護者の不安をなくするような取り組みをしていきたいとして答えております。

一二三議員のほうから教育について質問がありました。パソコンの予算が門前地区について計上されていたために、今後はどうするんですかという質問でした。

今回、門前地区にしたのは、門前地区のパソコンが古くなっていたために行いました。旧輪島のほうは前回のときに更新しておりますので、しばらくは更新しない旨を答えております。利活用に関しては、授業だけでなくインターネットの検索等で十分に活用していくと答えています。

鑑議員のほうから就学援助について質問がありました。入学式のときに就学援助に関して説明しているけれども、今はなぜ取りやめたかという質問でしたが、これについては、今までと同じで特に変更はなかったんですが、ただ、全小・中学校で就学援助の説明をしていないという現状がありましたので、正確に答えたということで、丸をつけなかつただけというふうにして答えています。変更は一切していないというふうに言っております。

また、認定基準に関しても、1.3倍以内というふうにしてはいるけれども、今回は非公開になっているというような質問がありました。これについては、内規であって規則ではないため、これも厳密に考えて、アンケートに対して答えたものです。特に今年度から就学援助に関してハードルを上げたとかそういうことは一切ないということにして、あわせて答えております。

以上です。

委員長

では、今、市議会の報告について説明が終わりましたが、何かご意見、ご質問ございますか。

特にないようですので、それでは次に移らせていただきます。

次は、議案の審議であります。

今回の議件は、議案第1号及び議案第2号の2点であります。

まず、議案第1号 輪島市学校通学区域に関する規則の一部改正についてを議題とします。

教育参事から。

教育参事兼

お手元の提出事件書1ページをお願いいたします。

学校教育課長

議案第1号 輪島市学校通学区域に関する規則の一部改正について。

輪島市学校通学区域に関する規則の一部を改正する規則を次のように定めるといふことで、今回、西保小学校の閉校に伴いまして、通学区域を変更するものでございます。

具体的には、2ページの第5条中「教育委員会」を「輪島市教育委員

会」に改め、同条を第4条とする。そして、その下のほうですが、通学区域の例外といたしまして、小池町、下山町、赤崎町、大沢町、上大沢町、西二又町、上山町に関しては、学校を選べるというようなことでお願いいたします。

今回の条例に関しては、西保小学校がなくなることによって、通学区域を弾力的に運営するというので、今回の条例の変更がされております。

以上です。

委員長

説明が終わりましたが、議案第1号について質問はございませんか。

それでは、第1号議案については原案のとおり承認いたします。

次に、議案第2号についてであります。

ここで提案があります。現在行っている会議は原則として公開であります。幾つかの事由に該当する場合は、その例外として会議を非公開とすることができるとなっております。この議案第2号につきましては、輪島市教育委員会会議規則第14条第1項4号の教育事務に関し、市長が作成する議会の議案に対しての意見の申出にすることに該当するものであります。したがって、この議案に係る部分については会議を非公開としたいと思いますが、委員の皆様、どうでしょうか。

「異議なし」との声あり。

委員長

それでは、この議案第2号については非公開といたします。

議案第2号 平成25年第1回輪島市議会臨時会提出予定案件についてを議題とします。

この議案の内容は、補正予算議案です。

まず、教育部長からご説明を願います。

教育部長兼
庶務課長

それでは、お手元の議案書3ページのほうをお開きいただきたいと思います。

議案第2号でございますが、平成25年第1回の輪島市議会臨時会に提案をする補正予算の案でございます。

なお、この臨時会につきましては、2月6日、1日ですが、この日に開催をする運びになっております。

それでは、その内容でございますが、4ページをお開きいただきたいと思っております。

予算の概要でございますが、まず庶務課関係でございますけれども、河井小学校の大規模改造、それから耐震補強事業費ということで、昨年に引き続きまして、河井小学校の特に耐震補強工事を継続して、第Ⅱ期分として進めたいというふうに、予算を1億8,640万計上しているものでございます。

これまで完了しておりますⅠ期の工事につきましては、生徒玄関側の棟と申しますか、から体育館に至る棟ですね、方角的に見ますと、高校前の道路に面した、並行した部分ということになるのかなと思っております。

それから、今回、Ⅱ期分として実施をいたしますのは、プールの前に、いわゆる職員玄関、来賓玄関がございますけれども、そこから職員室の棟がありますが、その棟ですね、こちらの棟を中心に補強工事を行うということで、いずれもⅠ期、Ⅱ期とも、この校舎は44年、45年に建設を、昭和ですね、されたということで、老朽化にあわせて耐震補強が必要ということで、そのために、いわゆる鉄骨のブレースというバツテン印のものが、窓枠をして補強をするというのが中心となります。それからあわせて、大規模改装については、内装、それから給排水の工事を主に行うということになっております。

それから、鳳至小学校の大規模改造、同じく耐震補強工事でございますが、これは今年度予算で、基本設計と申しますか、設計を行ってまいりました。いよいよ国の補助事業で工事費がついたということから、前倒しで今回補正予算で工事費を計上したところでございます。予算としましては2億7,350万ということで、これはⅠ期で電気工事を予定しております。

将来的には、校舎が道路に面して3本と申しますか、建物が、正面へ入りまして校長室から体育館に至る棟、それから、職員室を經由して児童ク

ラブの一番新しいほうですね、奥まったところのその棟を中心に耐震補強と大規模改修を行う予定をいたしております。

なお、一部、真ん中の棟ですが、真ん中の棟という言葉で言うのは変なんです、そこについては耐震的には特段問題はないということで、これは今回、国の大型補正が発表いたしますれば、これによって別途約9,000万ぐらいの事業費で足りるかなと思いますけれども、これをもって大規模改装を追加でまた行いたいという予定をしておりますが、今はそれを除く2本の棟について、3階まですべて耐震補強と大規模改修を行うという予定でございます。

それから、生涯学習課のほうでございますが、施設管理費ということで、七浦診療所移設に伴う七浦公民館の改修費ということでございます。本来ならば診療所は教育委員会の所管ではないんですが、現在、七浦公民館については、旧学校校舎を活用して管理運用しておるということで、その1室を使って、月1回ないし2回ということになるかなと思いますが、診療所開設をしたいということで、この改装に伴う費用として550万円を計上しております。

参考までに、こういった計上の仕方については、前回は旧南志見中学校の一部について、同様の診療所開設のための工事費を教育委員会で持っておりますので、それと同様の扱いをしたいということであります。

それから、スポーツ活動支援事業費でございます。輪島市出身の大向貴子さんですが、現在28歳の方で、輪島高校時代には陸上部だったそうですが、仙台大学を卒業して、スケルトンという、いわゆるそりの競技ですが、そりの競技は3種類ございまして、いわゆる仰向けに寝転んでといますか、乗るリュージュという競技と、それから、いわゆる従来のそりのように1人で乗ったり、あるいは2人で乗るような、複数の乗るボブスレーというのと、それから、今回のそのスケルトンというのは、いわゆる腹ばいになって頭から突っ込んでいくという、そういうようなスタイルのものだそうでございます。この輪島市出身の大向貴子さんが、今度、2014年、来年でございますが、ロシアで開催をされますソチオリンピックを目指しておるということで、非常に国内でも現在ランキングが上位にあると

いうことから、輪島のほうでも既に会議所を中心に応援をする、そんな組織もできております。海外遠征も含めて大変費用がかかるということもございますし、場合によっては、ランキングからするとオリンピックへの出場も非常に可能性は高いということから、ぜひともオリンピックを目指す若者への支援ということで、今回100万円を予算計上しておるものでございます。

委員長

それでは、2号議案について、原案のとおり承認することについて、その前に質問ありますか。

ないようですので、原案のとおり承認することとしてよろしいでしょうか。

「異議なし」との声あり。

委員長

それでは、議案第2号につきましては原案のとおり承認いたします。

以上で非公開の会議を終了して、この後の会議は原則どおり公開とすることにいたします。

それでは、報告事項に入りたいと思います。

今回の報告事項は2件あります。

報告第1号 就学指定校の変更を許可した者について及び報告第2号 輪島市就学指導委員会の会議の開催について、一括して報告を求めます。

教育参事。

教育参事兼

お手元の事件書の報告事項をお願いいたします。

学校教育課長

今回、就学指定校の変更を許可した者ですが、新1年生、小学校の2年生、中学校の1年生に関して、市全体で22名ありました。その中で理由ですが、特別支援学級に就学する児童・生徒が、学校生活を考慮して、就学指定校以外の学校の特別支援学級に通学することを希望した児童が1名、それから、今後1年以内に就学指定校の通学区域以外に住所を変更することが確実である児童・生徒が1名、残りの20名はすべて保護者の都合によ

って就学指定校以外の学校へ通学を必要とするという、(6)番が20名でありました。

具体的には、報告書の10ページ、別紙1から、それから報告書の23ページまで、22名分の名前と、それから変更先、それから理由について書かれております。

次に、報告第2号ですが、輪島市就学指導委員会の会議の開催について報告いたします。

平成24年11月29日に、この場所において就学指導委員会が開催されました。11月29日に行われた就学指導委員会をなぜ2月初めの定例教育委員会でご報告するかといいますと、就学指導委員会で判定を受けた後で、保護者との話し合いの中で、具体的に学校が決まるまでに時間がかかるために、今回の報告となりました。

具体的にどのような結果になりましたかといいますと、25ページをお願いいたします。

表の2段目ですが、一番上のほうに、例えば平成25年度中学校への新入学者ということで、就学指導委員会で9人審査いたしました。その中で、特別支援学級がよいというふうに判定があったのが5名、特別支援学校がよいというのが4名ありました。実際には特別支援学級に行ったのが6名で、特別支援学校を就学指導委員会で判定したんですが、やはり支援学級に行ったとして、変わっております。そのような形で、大体、判定とは異なるのは1人ほど、それぞれの小学校についてありました。

それから、継続につきましては、そのまま継続ということになっております。

下のほうに、本年度から新たにできた鳳至小学校の通級ですが、来年度も引き続き通級教室が開設されます。来年度は、新たに2名、通級教室に通うこととなります。そして、通級が不要になった児童が1名おりましたので、来年度は8名で通級教室を鳳至小学校で開設することとなりました。

以上が、就学指導委員会の判定と、それから判定に基づく保護者との連絡調整による結果をご報告いたしました。

委員長 それでは、説明が終わりましたが、1、2号について質問ございません
ですか。

石本委員 未熟ですけれども、鳳至小学校の通級指導というのがわからないんです
が。

教育参事兼 通級指導というのは、特別支援学級に入る児童は、知的または情緒、そ
学校教育課長 れから肢体不自由等障害を持った子供が特別支援学級に通います。通級指
導というのは、普通学級に在籍している、LDであったりADHDであつ
たりという発達障害の子供を、ある教科だけ、例えば算数または国語の苦
手な教科だけ通級教室に行って個別に指導を受けるのが、通級教室とな
ります。本当の籍はほかの2年生であったり4年生であったり、ほかの籍は
もともと持っているというふうになります。

石本委員 ありがとうございます。

委員長 よろしいですか。

石本委員 はい。

委員長 ほかはないですか。

それなら質問ですが、ことしの例えば就学指導委員会の判定で、行った
ほうが望ましいというふうに言ったにもかかわらず、いや、普通学級へ私
は行くんだというふうになった保護者の意見がありますね。1年が経過し
た、やっぱりその判定のとおりにしたいというふうなときのその弾力的な
変更というものが可能なのかどうかということです。

教育参事兼 例年、保育所から小学校に入る段階には、やっぱり保護者の方々が、特
学校教育課長 別支援学級という学級に対して非常に何か構えてしまう関係上、普通学級

にこだわるのですが、2年間もたつと、大体、1年生、2年生を経過して、そして子供の状況等を考えると、大体3年生とか4年生ぐらいから、特別支援学級のほうへ移らせてくれというふうにして、保護者のほうから言ってくるケースが多いです。実際に就学指導委員会にかけまして、年度の、学年の途中から、2年、3年という途中から特別支援学級に行っているケースがあったようです。

委員長 あとは、早く入った場合により子供が幸せになるんだという部分がある、そういうのを保護者の方に理解していただくということが、より我が子のためにいいのではないかなというふうに思うんですけれども、そういう場合の指導は、強引にはやらないわけですか。

教育参事兼
学校教育課長 実際には、就学指導委員会の前に、県の専門家が来て就学相談、教育相談をするんですが、そのような審査や検査を受けること自体に、保護者のほうから拒否反応があったり、こういう話が出ただけでもやっぱり非常にデリケートなものですので、なかなか神経を使うことが多いです。

委員長 はい、わかりました。
 ほか、質問ございませんか。
 それでは、ないようですので、報告事項を終了いたします。
 その他の報告へいきたいと思います。
 各課からの報告として、いつものとおり庶務課から始めますが、すべての課が終わり次第、質疑、質問ということにしたいと思います。
 それでは最初に、教育部長兼庶務課長からご説明をお願いします。

教育部長兼
庶務課長 それでは、その他報告のレジュメの2ページをお開きいただきたいと思
います。2月の行事予定表でございます。

 まず、2月5日には、石本委員さんに、金沢のほう、KKRのほうへ研修でお出かけをいただきたいというふうに思っております。

 それから、6日については、先ほど申し上げましたが、市の臨時議会が

開催をされます。

8日には市の定期監査が開催をされます。ここには庶務課長というふう
に書いてございますけれども、当日に庶務課、それから学校教育課、それ
から生涯学習課も順次受ける予定をしております。

それから2月14日は、教育委員会の課長会議の開催をいたします。

それから2月21日でございますが、第2回の教育委員会定例会を3時か
ら開催ができないかなというふうに考えておりますので、後ほどご協議を
お願いしたいと思っております。

なお、この日でございますが、文部科学大臣表彰を受賞されました鳳至
小学校の鬼平校長先生の祝賀会を6時30分からホテル高州園のほうで開催
するということで、委員の皆様方にもご連絡が入っているかなと思ってお
りますが、ぜひご参加をいただければと思っております。

庶務課関係については以上でございます。

委員長

では、次に学校教育課について教育参事。

教育参事兼

4ページをお願いいたします。

学校教育課長

校長会、教頭会が開催されます。

あと、2月12日ですが、かほく市の宇ノ気中学校の視察が入っておりま
す。これは、統合中学校と同規模校の新しい学校を実際見てみようという
ので、調整の上、決まったものです。委員の皆様方にも、ぜひご都合がつ
くようでしたら、輪島市のほうから文化会館からバスが出ますので、よろ
しくご参加をお願いいたします。

あと、5ページをお願いいたします。

先ほどからいろいろと話が出ている統合中学校の小委員会のメンバーに
ついて、ここに載っております。前回の校長会のときにもいろいろ話があ
ったんですが、例えば校舎についても、現実的に不可能なことが十分わか
っていても、なおかつ、またそれはやっぱり言葉として出てくるというこ
とに関しては、非常に何となく残念だなと思わざるを得ません。でも、実
際に保護者のほうでは、そういうことは抜きにして、もう既に制服であっ

たり通学路であったり、それから校章について、具体的に26年4月の統合に向けて、このような形で動いております。

要望書の件もありましたが、ここの委員の方には、上野台、松陵、鳳至、この市内4校のうちの3校のPTAの会長までが自主的にここに参加する形で、決して、大きな反対意見があるというふうにして、この委員のメンバーを見てもおわかりのように、既に大勢は統合に向けておおむね理解しているということにして、とらえていかと思います。

6ページをお願いいたします。

本年度の小・中学校の卒業式について、教育委員会のほうでそれぞれこの学校に参列ということをお願いいたします。それで、もしご都合等、また変更等を希望されるようでしたら、今言っていただければ変更いたしますので、お願いいたします。中学校については3月12日、開始時間は9時半となっていますので、お願いいたします。小学校については、3月19日ということをお願いいたします。

ちょっといろいろ、19日に関しては、不安な、何か流動的な要素も昨日まであったんですが、ちょうど昼、3月19日ということで、市長部局のほうでも確認がとれましたので、よろしくお願いいたします。

あと、あゆみのほうから文書が出ていますので、またご一読をお願いいたします。

以上です。

委員長

生涯学習課長。

生涯学習課長

それでは、9ページをお開きください。

きょうからですけれども、3階、301、302で「輪島市子ども作品展」、書道の展示を行っております。

あすですが、午前中に輪島市スポーツ少年団交流会がサン・アリーナであります。午後から、教育委員の方にも出席依頼しておりますが、生涯学習推進大会が文化会館大ホールで13時30分より行われます。

そして3日が、市民スキー教室ということで、三井のスキー場で10時か

ら。

4日の日は、スポーツ推進審議会、401で行われます。

一番下のほうへいって、2月23日が石川県民体育大会冬季大会ということで、スキー競技が白山市で行われます。

そして、その日には、全日本競歩第2回の実行委員会、実行委員会の第2回目が文化会館で12時から開かれます。

10ページには、あす行われます輪島市生涯学習推進大会の次第、そして、11ページには、輪島市ボランティアフォーラムの内容が載っておりますので、ごらんください。

図書館については図書館長から報告させます。

委員長

それでは、輪島市立図書館長。

市立図書館長

市立図書館の2月の行事予定をお知らせいたします。

2月2日、定例のこぐまグループのおはなし会。

10日、おはなしボランティア講習会の1回目があります。その他のところの13ページのほうにご案内をさせていただきました。内容は、「子どもたちへ楽しい読み聞かせを」をテーマに、講師は、かほく市はまなす文庫をされています細川律子さんをお願いいたしました。親子読書講座として、13日に三井保育所で行い、19日には鳳来保育所、26日に海の星幼稚園で行います。講師は、金沢市はるかぜ文庫の中橋範子さんをお願いいたしました。

14日、よちよちさんのおはなし会。

16日、バッテリー会のおはなし会。

17日、読書会があります。テキストは、壺井栄の「柿の木のある家」をテーマで行います。

21日、ファーストブックおはなし会をふれあい健康センターで行います。

22日、図書館招待として午前中に南志見保育所の子供たちが図書館にいらっしゃいます。

午後は、平成24年度の第2回輪島市子ども読書活動推進会議を実施いたします。

そして、その会議の内容なのですが、市内の保育所、小・中学校、3カ所の図書館の見学を兼ねて予定しております。

以上でございます。

委員長 それでは次に、門前図書館長。

市立門前 門前図書館の行事予定をお知らせいたします。

図書館長 立春大吉おみくじと書いてあるのは、これは冬の読書活動推進にあわせて行うもので、引いたおみくじの内容により貸し出し冊数が追加できたりします。期間は2月1日から28日までです。この立春大吉という言葉は、総持寺の魔除け行事に由来します。

2月13日、0・1・2おななし会。

2月16日、でんでんむしのおはなし会。

2月21日、古典を楽しむ会があります。

以上であります。

委員長 文化課長。

文化課長 それでは、文化課の行事予定です。

資料は16ページになります。

2月3日、今度の日曜日でございますが、輪島市の文化協会の皆さんが、友好町村の提携をしております、富山県南砺市のほうです、五箇山のほうを訪問する予定でございます。

それから、2月9日から、例年行われております輪島あえの風冬まつりが文化会館を中心に行われて、まず「輪島塗ありがとう市」、それから16日からはにぎわい大市ということで、13日まで開催予定でございます。

それから、2月24日の日曜日ですが、輪島市文化賞の表彰式が文化会館301会議室で行われます。これにつきましては、次にご案内いたしました

が、別紙できょうも内容についてつけさせていただきますましたが、10時半から予定、11時から行います。被表彰者は、昨日、委員の皆さんにお決めいただいた候補者がそのまま決定されておりますので、報告しておきます。

それからもう一つ、別のチラシで、きょうは掲載することをもって報告させていただきますましたが、塩安真衣子サクソフオーンコンサート、これは3月17日に開催予定ということで、今販売を開始しましたので、また参考までにごらんいただきたいと思います。塩安真衣子さんは、ご存じのように、輪島市出身の方でございますので、一人でも多くの方のご来館をお願いしたいと思っております。

私のほうからは以上です。

委員長 それでは、漆芸事務局長。

輪島漆芸美術館 まず、行事予定表の前に、冒頭の教育長の諸報告でお話がありましたけれども、1月23日の第30回日本伝統漆芸展開会式におかれましては、委員長さんを初め委員の皆様、大変お忙しい中、ご出席をいただきましてありがとうございます。

引き続き2月23日も、この加賀能登の至宝ということで、石川県移動美術展の開会式、これは教育委員会の主催になってございますので、小橋委員長さんにおかれましてはテープカットもお願いしておるところでありますけれども、またご出席をよろしくお願ひしたいなと思っております。

それでは、行事予定表を説明させていただきます。

現在の開催中の第30回日本伝統漆芸展は、2月18日までであります。

2月2日、ワークショップ「粘土でスイーツをつくろう！」でありますけれども、これはチラシが、17ページ、次のページに縮小して4つ載せておるんですけれども、この右側の下のほう、これですね、パレンタインデーに近いということで、小学校低学年に何か楽しんでもらうワークショップということで、ちょうどあすなんですけれども、これを実施いたしまして、講師はうちの学芸員でございます、現在、定員を超える35名の小学校低学年から申し込みがあります。

続きまして、16ページをお願いします。

それから、この伝統漆芸展の開催期間中は、日曜日4回とも列品解説がございまして、2月3日は西勝廣さん、それから2月10日は寺西松太さん、そして2月17日は、昨年紫綬褒章を受章されました山岸一男先生の列品解説がございます。

そして、2月9日になりますけれども、これは輪島あえの風冬まつり協賛の特別料金ということで、現在600円となっておりますけれども、それが400円ということで、特別料金で入館をするということになります。

そして、引き続き9日から14日まで、オリジナルMy椀展ということで、これは17ページにまた戻っていただきたいんですけれども、昨年、輪島市内の小学校6年生が卒業記念ということで、毎年、My椀をつくっておるわけでありましてけれども、その沈金したMy椀を一堂に漆芸美術館に展示するというものでございます。これにつきましても、もしご都合がございましたら、子供たちの作品をぜひごらんになっていただきたいなと思っております。

それから、16ページへ戻ります。

2月16日は、ふれて感じる、うるしの温もり企画「輪島塗で味わう当館謹製の“ぜんざい”」ということで、16日と17日、ぜんざいをふるまいます。これは、また17ページの右側の上、横になっております、大変見にくいかと思いますけれども、町野産の大納言を使いまして、うちの職員が手づくりのぜんざいでお客様をおもてなしするというものでございます。

続きまして、2月19日から22日までは、展示がえのため4日間休館をさせていただきます。2月23日に移動美術展の開会式をするという日程でございます。

続きまして、18ページのほうをお開きください。

毎定例会ごとに報告している美術館の入館者数でありますけれども、1月28日現在917人でありましたけれども、1月の数字が1,000人超えまして、1月に1,000年を超えたというのは7年ぶりでございます。10月、11月、12月と3カ月連続、前年を下回っていた入館者が、1月に410名ほどの増ということになっております。

以上であります。

委員長

それでは、以上で説明が終わりました。

ご意見、ご質問等ございませんですか。

教育参事に聞きます。

宇ノ気の中学校の視察があるということでしたね。委員もできれば参加をということでしたが、これは何時からどこで集まって、それで、本当の委員以外に教育委員の入るスペースがあるのか、この辺について。

教育参事兼

後ほど文書でご案内いたしますが、集合時間は1時でございます。1時15分発で、市のバスで宇ノ気中学校のほうに行きたいと思っています。帰宅時間は大体6時ごろを予定しています。バスのほうは、委員の皆様方が全員乗る十分スペースがありますので、講堂のある中学校として、ぜひごらんになっていただきたいなと思いますので、よろしく願いいたします。

学校教育課長

教育部長兼

庶務課長

1つ追加ですが、先ほどの宇ノ気中学校については、今回の中学校統合の小委員会の委員のメンバーの方々にもご参加をということで募集をかけております。それと別なんです、翌日の2月13日、これは、中能登中学校を視察するというので、これは急遽決まっております。これは事務局だけということで、今、小委員会の中にはお渡ししてございませんので、もしこれもご都合がつくようであれば、ついでということになりますけれども、13日の、一応、中能登中学校のほうとは、14時30分にまず連絡をとっておりますので、午後出発ということになると思いますが、またご都合よろしいようであれば、ご連絡をいただければ、時間を調整させていただきます。

委員長

そうすると、今あったのは、2月12日、宇ノ気、2月13日、中能登中学、2月21日、教育委員会、2月23日、移動美術展、2月24日、文化賞の表彰、あしたは生涯学習推進大会、きょうは委員会、一応確認します。

それでは、もう一つ、輪島市立図書館長、この輪島市子ども読書活動推進大会というのがある。これは大事だと思うんですが、僕、この間読んでおった本にも、大人も子供も読書量というものが極めて、学力から、あるいは輪島市の職員であるならば、企画、提案、説明とか、そういうものに極めて重要な関係を持つというのは、この間、すごい東京都の選挙で票を集めた猪瀬という方が言っているんですよ。

そうすると、僕らも今、学力、学力というふうに言っているんです、学校はね。けど、この辺も今までと変わって強力的に推進していただいたならば、その学校教育というものの中身も変わってくるのではないか。学校の教員だけに要求していても、なかなかバックグラウンドというものがしっかりしていないがゆえに、目前の記憶中心的な学力的になりがちだと。

そういうことで、どういう内容にやるのか、昨年度とどのように違っているのか、どれだけ強力的に推し進めようとしているのかということについて少しお話をお聞きしたいというふうに思うんです。

はい、どうぞ。

市立図書館長　この会議は年2回なんですけど、実際に図書館で活動している報告も行いますが、今回、2回目として、市内の保育所、小・中3カ所の図書室の実情を委員の皆様に見ていただき、読書活動の実態をお聞きしたいと思っております。

よろしいでしょうか。

委員長　南志見保育所に……

市立図書館長　これは、南志見保育所は、図書館招待として午前中いらっしゃるので、図書館協議会、子どもの読書推進会議とは全然行事は異なっております。

委員長　そうすると、この会議はどんな中身になるんですか。輪島市子ども読書活動推進会議は。見ていただく……

市立図書館長　　いいえ、今までも、年2回なんですが、委員さんに集まっていただき、輪島市の読書の状況、図書館での市民の利用状況とかいろんな行事等を入れながら、市内の子供たちがいかに読書に興味を持っていただくかということ、皆さんで意見を持ち寄り、少しでも推進できたらいいのではないかという、要するに、皆さんからご意見をいただきながら、図書館としてもそれに従い努力していく、お互いに話し合いを持つ会議になっております。

委員長　　どのように輪島市内の子供たちに読書の利用を高めるようにするかという会議として受けとめていいんですか。

市立図書館長　　はい、それでよろしいと思います。

委員長　　それでは、ぜひこの辺につきまして、学校教育と図書館が一体になって進めるというか、そういう会議が大事だと思うので、この委員の中に、例えば図書館を学校のこれから委員のような人間を少しまぜてもらって、そして学校と図書館との連携プレーを強化するような方向で、保育所はまじっておるんですよね、この委員の中に。そして、一般の人もまじっておるんですか。

市立図書館長　　はい、一般もそうですし……

委員長　　教員もまじっている。

市立図書館長　　はい。1名参加していただいております。

「大瀧和賀子」との声あり。

市立図書館長　　はい、そうです。

委員長 そうすると、国語部会長みたいな人間が入ってくるわけですか。

「そうとも限らないね」との声あり。

市立図書館長 そうですね。

委員長 それでは、ぜひこの活動が学校と両輪になるような方向で……

市立図書館長 またいろいろとご指導していただければと思いますので、よろしく
お願いいたします。

委員長 いつもとおりの2回目の会合ですというふうに、パターン化して終わ
らないことが大事だというふうに思いますので、ぜひ強力に推進を願いた
い。

市立図書館長 はい。市内の子供たちのために、一歩でも本当に読書をしていただき
たく常に思っておりますので、またご協力よろしくお願いたします。

委員長 そのとき、例えば学校教育において、昨年度とどれだけ大瀧さん、あな
たはその役割として推進した結果を出しましたか、保育所ではどうですか
というふうな発表をしていただくというのも僕は大事だと思うんですよ
ね。ただ抽象的論議をどれだけ重ねていても、痛くもかゆくもない会合に
なるんではないか。その辺、少し痛い会合になるような方向でやっていた
だいたほうがありがたい。

市立図書館長 またご指導よろしくお願いたします。

委員長 はい、よろしくお願いたします。

それでは、ほかありませんか。

輪島漆芸美術館 すみません、委員長さん、1つ説明がございます。すみません。

事務局長 引き続き17ページをお開き願います。

ここに2月24日に、漆芸美術館の行事予定で、萌えいつる春の歌声、輪島市民合唱団ふれ愛コンサートが先ほどの説明で抜けておりました、午後2時から当美術館のエントランスホールでこのようなコンサートがございます、賛助出演といたしまして仲谷響子さん、メゾソプラノ歌手でございますけれども、歌っていただくということでございますので、よろしくお願いたします。

「それはお金は幾らですか」との声あり。

輪島漆芸美術館 無料であります。ちょうど加賀能登の至宝の移動美術展も無料ですの

事務局長 で、この館は全館無料でありますので。

委員長 それでは、そのほかの報告はございませんですか。

ないようですので、次回の委員会の日程を決めたいと思います。

先ほど庶務課長、教育部長から、2月21日午後3時という提案がございましたが、皆さんの予定はどんなものでしょうか。よろしいですか。

「はい」との声あり。

委員長 それでは、2月21日3時ということで決定したいと思います。

以上で今回の議事はすべて終了いたしました。

本日の会議はこれをもって閉会といたします。どうもありがとうございました。